

会 議 録

会議の名称	西東京市図書館協議会 令和4年度第3回臨時会
開催日時	令和4年11月18日（金）午後2時30分から4時まで
開催場所	田無第二庁舎 4階3会議室
出席者	委員：島会長、鈴木副会長、上田委員、緒方委員、柴田委員、 長谷川委員、福士委員、山辺委員 (欠席) 野崎委員、東山委員 事務局：徳山館長、湊山副館長、金本庶務係長 齋藤社会教育主事
傍聴者	0名
議 題	第1 諸報告 第2 次期図書館計画の策定に向けて 第3 その他
会議資料の名称	参考資料 西東京市図書館協議会視察研修会議事録 参考資料 私たちの望む西東京市の図書館（素案） 参考資料 図書館中長期計画_R05～R20_基本構想案たたき台_令和4年度 検討版 参考資料 施設の基本的な方針ver2
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会 議 内 容	
<p>第1 諸報告（館長より）</p> <p>市議会第4回定例会の報告</p> <p>○館長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日から議会第4回定例会が始まりました。 ・今回は図書館への一般質問はありませんでした。 <p>11月4日の立川市中央図書館の視察研修会について</p> <p>○館長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視察研修会の議事録を参考資料としてお配りしています。誤り等があればご指摘ください。 ・参加された感想などがあれば教えてください。 <p>視察研修会の感想</p> <p>○副会長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校との連携で電子書籍を入れたことの意味がよくわかりました。 ・思った以上に図書館向け電子書籍の幅が狭く使いにくいことも改めてわかりまし 	

た。

- ・読み放題という言い方をされていましたが、ああいうものがないと子どもの本を電子書籍に入れる意味がないと思いました。
- ・西東京市で電子書籍を入れることを考える時、どこにターゲットを置くかで全然違ってくると思いました。
- ・立川の館長さんが、1年以上経っても子どもたちが電子書籍を読んでいるので、それを維持させたいとお話されていましたが、始めるのであれば続けていけるやり方で始めなければだめだと思いました。
- ・入れている本を見ていたら、本当に電子書籍じゃないとだめなのかと思えるものが意外と多いけれど、子どもたちはどうやら家に帰って夜寝るまでの間に読んでいるらしいということを聞くと、なるほどパッと見られるものを見て満足して寝る人もいるのだと思いました。
- ・その一方で、読み応えのある本とか重いからこそ面白い本に結び付けていく働きかけを図書館とか学校が絶対にやらなければならないと思いました。
- ・両方が必要な時代になってきたのだと思いました。
- ・とても面白くて良かったです。ただ、前途多難であることがよくわかりました。

○委員

- ・館長さんが剛腕で事業を進めていると思いました。
- ・使命感に動かされてやっぺいらっしゃることがよくわかり、事業としては素晴らしいことをされていると思いました。
- ・電子書籍が素晴らしいと諸手を挙げて賛成しているのではなく、電子書籍というツールを試して、読書の導入に使えないかということで動かれていると思いました。
- ・実際に小学生の利用が増えているという成果を上げているので、それは無視できないと思いました。
- ・西東京市の場合には考え方がはっきりしていて、過去に文書も出していて、それに沿って進めているので、そのように進めていけば良いと思うのですが、立川市のように先進的にチャレンジしているところがあることは、今後も確認しながら政策を考えていくべきだろうと思いました。

○委員

- ・成功例として詳細な話が伺えて、漠然としていたものがかなり明らかになって貴重な機会でした。
- ・気になったのは、国の補助金で導入した自治体が多かったようですが、その後いかに継続していくのか、電子書籍を誰に使ってもらうかを明確に決めずにスタートした結果、利用者が少ない、継続する資金が足りなくて行き詰っているという自治体が多いということです。
- ・その話を聞いて、立川市の成功例を西東京市に持ってこられるのかと具体的に考えるとなかなか難しいと思います。
- ・立川市では、途中から民間資金を導入することができているので継続していけます。
- ・また、システムは図書館ではなく市役所で用意してもらっています。
- ・もう一つ、館長のリーダーシップは民間企業の部長のような働きで、あの館長さんだからできているのだと思いました。
- ・ですから、成功例と言いながら特殊だと思えますので、これを一般化してどこの自

治体でもできるというのはまた別の話だと思います。

- ・もし西東京市で導入するのであれば、近場に良い成功例があるので、これで続けていけるのかを考えることが大切だと思います。
- ・学校現場での利用が増えて役立っているのは、ひとつの大きな方向性だと思うので、教育と財政部門と図書館と三位一体になって準備してやってく必要があると感じました。

○副会長

- ・立川市の学校図書館は、聞いたところ動いていないに近いと感じました。学校司書は週に1回1人があてられているとのことでした。
- ・西東京市は10年以上基本的には学校司書がいるので、立川市とは全然違う学校現場だと思います。
- ・ですから、学校中心に電子書籍を入れていくとなった時、学校図書館との連携が重要になると思いますので、司書さんがいろんな形で子どもたちに働きかけることを続けていける形であればすごく良いので、そこがスタートだと思いました。

○委員

- ・立川市での民間資金は、コロナ禍の影響もあり図書館に援助され、電子書籍が導入できたということでしたが、このまま突っ走れるのかは疑問です。
- ・民間資金はいつ引き上げられるか分からない恐ろしさがあり、それをどのように担保していくか、あるいはもし切られた時に行政がその意義を認めて出してくれるのかという継続性が、おそらく立川市にとってもネックになっていくのではないかと感じました。
- ・こうした大々的なことができる規模感には西東京市には期待できないので、堅実に進めることを考えてもらいたいと思いました。
- ・大人の利用が見込めないため子どもへ特化しようということで、学校と電子書籍の結びつきも導入としてはいいけれど、それだけで電子図書館が済むのかと言われると、これからのことを考えるとそこだけで留まっていたのでは立ち行かなくなる気がします。
- ・子ども時代に電子書籍を使った人たちが大人になることにより電子書籍利用が広がることと、図書館の電子書籍が魅力あるコンテンツを提供できるように図書館レベルで出版界と交渉していく体制ができることが望ましいと感じました。

○委員

- ・大人向けのコンテンツは、雑誌の導入が始まったことが大きいと思います。
- ・大学図書館では、もう少し読みでのあるものを丸善などが提供しています。
- ・TRCなど公共図書館の枠組みではまだ充実していないようですが、電子書籍のコンテンツ自体がないわけではないです。
- ・公共図書館では、出版側との問題がまだあります。
- ・立川市では、電子書籍の財政的なことでは、導入時点では効果がわからないため予算がつかず、民間にお願いして乗り切ったのだと思います。
- ・今後は効果が評価されれば、経常経費で紙資料費予算を流用するかしないかという話になり、コンセンサスを得なければいけないのだと思います。
- ・将来的に電子書籍の意味があるかないかも含め、お金をどこから出すかは考えなければならぬと思いました。

○委員

- ・立川の館長はやり手だと思いました。
- ・ただ、電子書籍のことを何年も話してきて、今を逸したらいつするのだという気もしますし、はっきりして欲しいと思いました。
- ・私も考えが揺れたのですが、今は入れた方が良くと思います。家から出られない人、動けない人、病気とか入院されている、ひきこもり、不登校、スキップ教室に通っていても図書館が利用しづらい人などに利用してもらえるのなら良いと思うし、利用できないことは公平ではないと思うので、紙とか電子とか選択肢があって選べるのが一番良いと思います。
- ・お金があれば悩むことはないのですが、私は音訳の会なので、調子が悪い機材を新しくして欲しいですし、点訳と音訳の作業を同じ場所でやらなければならないので、立川市では部屋が分かれていたので羨ましく思いました。

○会長

- ・近い将来、電子書籍を入れていくのだろうと思いました。
- ・電子書籍のメリットもあるのだから、選択肢を与えることは図書館の基本的なスタンスなのだと思います。
- ・何をどのタイミングで導入するのかという時期に、もうなってきた印象を受けました。

○館長

- ・町田市と武蔵村山市も助成金や交付金をもらって、10月から開始しました。
- ・国がデジタルを進めていて、図書館が懸念するところは確かにありますが、読み放題も増えていくかもしれないという明るい話もありましたし、出版界も電子書籍が活用され実績が示されれば少しずつ意識は変わるのかもと思います
- ・西東京市も視察で意識が変わるところもありますし、市長の「子どもど真ん中」という方針もあり、タイミングとしては後では言えなくなってきましたので、慎重にかつスピーディーに、紙とデジタルの共存について、実際に子どもがもうデジタル機器を持っているので真剣に考えなければなりません。
- ・ずっと紙できた図書館司書のジレンマはあるのですが、これからの新しい図書館として生き残るためにも前向きに考えていきたいと思います。

○委員

- ・公共図書館への電子書籍の提供の仕方のビジネスモデルがおかしいと思います。
- ・52回や2年間の制限など、将来的にはもっと安く提供できるはずですし、読み放題は続かないでしょうし、通常の契約モデルを館長会なり組織やグループで出版社側と話せると良いと思います。

○委員

- ・図書館協会と出版側と話し合わなければならないです。
- ・例えばターゲットを学校や子どもでスタートして、段階的に広げていく。
- ・図書館サービスと言わなくても学校を取り込んでそこを足掛かりにしていくのも良いかと思いました。

○会長

- ・子どもは紙の方がいいのではないかと思います。

○委員

- ・もちろんそう願いたいけれど、ひとつの手立てとして学校との接点を深めながら足掛かりにしていくのも良いかと思いました。

○副会長

- ・情報にデジタルの形でないと触れない子もいるから…

○会長

- ・広島県立図書館は中高生をターゲットにしています。

第2 次期図書館計画の策定についてについて

前回に引き続き、「私たちの望む西東京市の図書館」について協議。

○委員 参考資料の説明

- ・『図書館のめざすもの』にあるALAの「アメリカ社会に役立つ図書館の12か条」とユネスコ公共図書館宣言2022における「公共図書館の使命」の内容を同じような形でまとめたものです。
- ・ユネスコ公共図書館宣言2022における「公共図書館の使命」は、『図書館のめざすもの』の12条を基に話し合った後で、SDGs、情報リテラシー、デジタル資料やデジタルアーカイブなどの新しい内容を入れた方が良ければ最後に見ていただければ良いと思います。

○会長 参考資料「私たちの望む（願う）西東京市の図書館」の説明

- ・前回までのところを4つにまとめました。まとめながら、もう少し具体的な記載が必要との感触を受けましたが、いかがでしょうか。

○委員

- ・細かい内容の直しは、先に進めてからで良いと思います。
- ・文言的に、「ください」は誰が誰にお願いしているかというところで違和感があります。
- ・「望みます」で統一するか、例えば説明文もすべて「望みます」をつけるのかなど表現の統一性が必要だと思いましたが、進めながら精査するのも良いと思います。

○会長

- ・では、その辺りを頭に入れながら、先に進めます。

「第7か条図書館は大きな見返りを提案します。」(p. 32) について

○館長

- ・西東京市ではこの考え方（1人当たりの図書館経費が本何冊分か）はあまり使いません。
- ・資料費予算の要求時に出版物の平均単価で説明することはあります。

○委員

- ・アメリカでは図書館の経済効果が高いということをこういう形で表現しているのですね。

○委員

- ・協議会としては、「経済効果が高いこと」を望んでいるわけではないです。

○副会長

- ・経済格差があっても、図書館は同じように本が借りられる場所であって欲しいと思いますが、これ（経済効果が高いこと）は図書館側からはあるかもしれませんが、市民側からはどうでしょうか。

○委員

・図書館はコスパを考える必要があるということなのでしょう。

○委員

・ここには、費用対効果から考えて、図書館にかかる予算と市民が本を利用するお金でどっちが得かということが書かれていますが、地域経済の活性化に貢献するというまとめになっているので、それが読み取ればそこに軸足を置いた表現でも良いと思います。
・例えばデジアーカイブなどは今後のやり方次第では地域経済に貢献できるかもしれないと言われています。

○会長・副会長

・図書館で行っている資料や場所の提供による広い意味でのビジネス支援などもそうですね。

○委員

・課題解決型サービスの充実を望みます。といことでどうでしょうか。

○委員

・後で、地域に合わせてとか経済とか事業とかに特化して膨らませるのが良いと思います。

「第8か条図書館はコミュニティをつくります。」(p.38)について

○委員

・コミュニティというのは本当に難しいです。
・田無市立図書館創立時のパンフレットには、「図書館は広場… おしゃべりが生まれます 新しいことをする力がめをさまします 図書館は生きています… 私たちがつくり出すものすべてが図書館の資料です 図書館はそれらを組織して動かすつづけます」とあります。

○委員

・ここで、異文化とか多文化とかLGBTなどを取り入れれば良いのではないのでしょうか。

○会長

・ここにある自分たちの図書室というのは、コーナーとか棚を指しているのかもしれませんがね。
・人がつながっているということも言っていますね。

○副会長

・生活の記録はすごくよく分かります。
・いろいろなコミュニティの人たちが図書館に足掛かりを持っていることにより、情報も取れるし交流もできる。

○会長

・図書館はいろいろなコミュニティを支援することを望みます。といことでしょうか。

○委員

・公民館との違いを出さないといけませんね。

○副会長

・情報が取れる場所ということがあのような気がします。

・図書館はまず一人で行ける場所で、情報が取れることが公民館と違うと思います。

○委員

・あくまで一人で行って、そこで人に出会って一つのコミュニティとなり、そこから何かが生まれてくる。それが図書館の原点だと思います。

○委員

・実はアメリカには公民館がなくて、図書館に公民館的機能を求めようとするところがあり、例えば、分断されてきている社会をどうやって修復するかについて、図書館は何ができるかということが言われているようです。

・これをそのまま日本に持ってくるのは違和感があるのだと思います。

・公民館との分担はあるけれど協力関係を持つなどという話を入れるかどうかでしょうか。

○委員

・谷戸公民館で保育員をしていた時、預かったお子さんと図書館のおはなし会に参加していました。

・その時、預かった子どもたちだけでなく、来ていた親子と一緒にボランティアさんのおはなしを聞いたり折り紙をしたりする中で、多くの方と係わり、出会えた楽しい思い出があります。

○会長

・コレクションやその保存は図書館ですが、公民館との協力などを入れるようでしょうか。

○委員

・おはなし会などや資料を通じた出会いとそのグループなどを育ててということでしょうか。

○委員

・図書館にはいろいろな方がいらして、そこでいろいろなことを感じるできるので、いろいろな人がクロスオーバーする唯一の大事な場所だと思います。

○会長

・以前、図書館（西東京市以外）に勤めていた時に市長が視察に来て、図書館の利用者には男の人が多だね、と感想を述べられたことがありました。

・男性の利用など公民館など他の公共施設と比べるといろいろな人たちが来館します。

○副会長

・一人で来られるということもあると思いますし、年齢の高い方も勉強しに来ています。

「第9か条図書館は家庭を支えます。」（p.42）について

○会長

・夏休みの宿題の相談など、アメリカではボランティアさんがやってくれたりするようです。マイノリティの子どもに宿題を教えるという話を聞いたことがあります。社会の分断を少しでも改善しようという意味もあるようでした。

○副会長

・図書館が宿題の面倒までみてくれるのは大変だと思いますが、山形県川西町の図書館に行った時、司書が宿題の相談会をやっていました。

- 会長
 - ・例えば先生のOBなどが宿題ボランティアをするなど可能でしょうか。
- 副会長
 - ・児童館や無料塾などができていて、そういうところに関わっている先生はいらっしゃるかもしれません。
- 委員
 - ・早稲田大学のOBOGを中心とした無料の学習支援をするグループ「稲門寺子屋西東京」がありますね。
- 委員
 - ・図書館にはお話しコーナーがあるが、もう少し誰でも利用できる空間を用意するのも良い。
- 副会長
 - ・委託の図書館で託児をやっているところもありました。
 - ・家庭を支えると言った時に、子どもを預かることだけでなく子供のいる家庭だけでなく、もっと世代も含め広くて良いと思います。
- 委員
 - ・最後に「家族に優しい」という記述があるので、説明で具体的することにして、家族に優しい図書館を望むのもいいかもしれません。
- 委員
 - ・居場所を作ることも家族に優しいことになります。
- 会長
 - ・家族に優しいを頭に付けるといろいろ出てきますね。
- 委員
 - ・以前、子どもの居場所の話がありましたね。
 - ・図書館も情報、資料を提供する中で目指していけると良いと思いました。
- 副会長
 - ・私は情報提供しない学習スペースも大事だと思っています。
 - ・それが必要な子が間違いなくいて、私の知る限り、そういう子は公民館ではなく図書館で勉強したいと思っています。
 - ・図書館は一人で行ける施設で、そこに安心できる大人がいる空間であることが重要だと思います。
 - ・公民館は、子どもが一人で行ってもそこでは基本的には何かにつながらない。
 - ・図書館でなければいけないわけではないけれど、図書館だと次につながります。
 - ・図書館は空気が全然違い、居場所のない子供にも優しいと思います。
- 委員
 - ・図書館は団らの場所みたいなところですよ。
 - ・それは、できるだけ広いスペースがあればいいし、誰でも入れて、個人個人がつながれると良いと思います。
- 会長
 - ・それでは、次回最後までやりましょう。また、まとめを送ります。
- 館長
 - ・今回は14時から始めて、2時間全部これにあててください。

第3 その他

利用者アンケートについて

- 館長
 - ・次期図書館計画に向けた利用者アンケートの案については、メールにて意見交換させていただきます。
- 会長
 - ・アンケートは、経年比較をするために、前回の内容とあまり変えない方が良いと思います。

視察研修について

- 館長
 - ・視察先について、交通費予算に限りはあるのですが、今年度新しいところは瑞穂町、杉並区中央などがありますが、いかがでしょうか。
- 会長
 - ・23区や大学図書館はどうですか。
- 副会長
 - ・学芸大
- 会長
 - ・武蔵美大も行ってみたい。
- 館長
 - ・これについても、あらためて連絡します。

次回、第4回臨時会 1月13日（金）14時～16時